

サミットアカデミーセカンダリースクール長野
2025年度 学校評価
＜学校関係者評価＞

1 学ぶ意欲・主体性

生徒の主体的な学びを引き出すために、授業の導入の工夫や課題解決型の学習など、多様な取組が行われている点は評価できる。特に、挑戦を促す雰囲気づくりや、生徒同士の対話・協働を取り入れた授業づくりは、生徒の学習意欲の向上につながっていると考えられる。一方で、生徒自身が課題を設定して学びを深める機会を増やすことが求められる。基礎的な学力の定着を図りながら、生徒が主体的に問いを立てて学習に取り組む授業の充実を期待したい。

2 思考力・表現力等

グループ活動やプレゼンテーション等を取り入れた授業により、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上が見られる点は評価できる。一方で、生徒自身が課題を発見し解決する力の育成については、学習過程の工夫や授業設計のさらなる充実が求められる。今後も主体的な学びを促す授業の充実を期待したい。

3 英語4技能

授業や日常生活の中で英語を使う機会を積極的に設け、「聞く・話す」を中心としたコミュニケーション活動を充実させている点は評価できる。一方で、「読む・書く」を含めた4技能のバランスの取れた育成や、思考を伴った表現活動の充実については今後の課題である。教科横断的な学びも意識しながら、実践的な英語力の育成に向けた授業のさらなる充実を期待したい。

4 人間関係・学級経営

話し合い活動や協働的な学習を通して、互いの考えを尊重し合う関係づくりを意識した学級経営が行われている点は評価できる。一方で、人間関係の問題に対する予防的な指導や、学級として目指す姿の共有については課題が見られる。今後は、生徒同士の関わりをより広げる工夫や、教員間の連携を一層深めながら、互いを認め合い安心して学べる学級づくりのさらなる充実を期待したい。

5 いじめ・SNS等

個別面談や道徳の時間を活用し、SNSトラブルやいじめ防止に向けた啓発や情報収集に取り組んでいる点は評価できる。一方で、トラブルの未然防止や発生時の対応については、より組織的な体制づくりや具体的な指導の充実が求められる。今後は、教職員間の共通理解を深めながら、計画的な啓発活動と日常的な指導を通して、安全で安心できる学校環境のさらなる充実を期待したい。

6 体罰・人権

生徒一人ひとりの状況を理解し、人権意識を踏まえた丁寧な指導に努めている点は評価できる。一方で、言葉の伝え方や指導内容の定着に課題も見られることから、教職員間での共有や研修を通して指導方法をさらに改善していくことが望まれる。今後も、生徒が安心して学べる環境づくりに継続して取り組むことを期待したい。

7 安全・防災

避難訓練や救急対応訓練、教職員への講習会の実施などを通して、安全意識の向上に取り組んでいる点は評価できる。一方で、避難経路や設備の把握、不審者対応の具体的な手順については、さらなる共通理解と体制整備が求められる。今後も、教職員間での情報共有や生徒への啓発を進め、安全で安心できる学校環境の一層の充実を期待したい。

8 保護者・外部対応

保護者からの相談や意見に対して誠実に耳を傾け、迅速かつ丁寧な対応を心掛けている点は評価できる。また、懇談会等を通して保護者との対話の機会を設けていることも、信頼関係の構築につながっている。一方で、学校の教育方針や取組についての情報発信や教職員間での情報共有については、さらなる充実が望まれる。今後も保護者との連携を深めながら、信頼される学校づくりを進めていくことを期待したい。

9 地域理解・地域連携

地域の方々や企業との交流、職業体験などを通して、生徒が地域を知り学ぶ機会を設けている点は評価できる。一方で、探究活動の継続性や教員間での目的共有には課題も見られる。今後は地域との連携をさらに深めるとともに、計画的な学習の展開と振り返りを充実させ、生徒の主体的な学びにつながる取組の発展を期待したい。

10 情報発信

学級通信や学校通信、Classi 等を活用し、学校や学級の様子を継続的に発信している点は評価できる。また、学校ガイドやホームページの更新など、学校の教育活動を外部へ伝える取組も進められている。一方で、発信の目的や内容の整理については今後の課題も見られるため、媒体の特性を生かした分かりやすい情報発信を進め、保護者や地域との連携がさらに深まることを期待したい。

■総評

授業改善や探究活動、英語教育、生活指導、地域連携など、学校の教育活動全体において、生徒の主体的な学びや成長を支える取組が進められていることは評価できる。また、保護者や地域への情報発信、学校内での安全対策などについても、継続的に改善を図ろうとする姿勢が見られる。

一方で、課題解決型の学習の深化や探究活動の計画性、教職員間の共通理解の強化、情報発信の目的の明確化など、今後さらに充実させるべき点も示されている。これらの課題を踏まえ、学校全体で方向性を共有しながら教育活動を発展させることで、生徒の学びと成長をより一層支える学校づくりが進むことを期待したい。